

アルテピアッツァ美唄25周年

安田侃のまなざし展

柚木沙弥郎

Samiro Yunoki

中野北溟

Hokumei Nakano

吉田喜彦

Yoshihiko Yoshida

関野晃平

Kouhei Sekino

安田侃

Kan Yasuda

2017.
10.7^土-16^月

開館時間：午前9時～午後5時

休館日：10月10日(火)

主催：アルテピアッツァ美唄25周年記念事業実行委員会

協力：安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄

(認定NPO法人アルテピアッツァびばい)

入場無料

安田侃彫刻美術館
アルテピアッツァ美唄

〒072-0831 北海道美唄市落合町栄町 TEL/FAX 0126-63-3137

メール arte@artepiazza.jp http://www.artepiazza.jp/

安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄 アートスペース(めざめ)



言葉を越えた何かを追い求める
先人とのコラボレーションは、
私にとって新しい創造への道と
勇気を与えてくれるようで、
いまからドキドキしています。

安田侃

出品作家

柚木沙弥郎 Samiro Yunoki (染色家、1922~)

東京都生まれ。民藝運動の提唱者、柳宗悦との出会いをきっかけに、後に人間国宝となる染色工芸家、芹沢銈介に師事。染色家の道を志す。以降、日本における型染の第一人者として、現在に至るまで制作を続け、多くの個展はじめ、絵本、インテリアなど他業種との共同制作も多数発表。

中野北溟 Hokumei Nakano (書家、1923~)

北海道羽幌町焼尻島生まれ。近代詩文書の父と呼ばれる金子鷗亭に師事、書の道を究める。北海道を想起させる作品が多く、北海道を代表する詩人の河野文一郎や原子修の作品も多く書いていて詩人からも高い評価を受けている。

吉田喜彦 Yoshihiko Yoshida (陶芸家、1936~)

栃木県宇都宮市生まれ。益子の濱田庄司に弟子入りを願うも、夫人の希望により暫く他で学ぶこととなる。1956年、美濃焼の荒川豊蔵に師事し、12年後に独立。伝統的技法を用いながらも現代性を盛り込んだ独特で穏やかな佇まいの陶器は、日本、海外からも高く評価されている。

関野晃平 Kouhei Sekino (漆芸家、1943~2014)

神奈川県藤沢市生まれ。多摩美術大学でデザインを学び、デザイナーとして就職するも、木・漆工芸家の黒田辰秋の作品に出会い1969年に弟子入り。乾漆・螺鈿の漆器を制作。1981年独立。無名であることに徹し、独自の道を歩む。白洲正子に「現代の“漆芸”では一番の人」(『風花抄』1966年世界文化社)と評された。

安田侃 Kan Yasuda (彫刻家、1945~)

北海道美唄市生まれ。1969年に東京藝術大学大学院彫刻科修士課程修了後、イタリア政府招聘留学生として渡伊。大理石の産地として知られるトスカーナのピエトラサンタにアトリエを構え、大理石とブロンズによる彫刻の創作活動を続ける。



●開館時間
水曜日~月曜日、
午前9時~午後5時
入館無料(任意によるご寄附をお願いします)

●閉館日
毎週火曜日・祝日の翌日(日曜日は除く)、
12月31日~1月5日

●交通
電車/JR函館本線利用で札幌より35分、新千歳
空港より80分(札幌で乗り換え)。美唄下車、市民
バス東線「アルテピアッツァ美唄」行き乗車。
(東明通り経由32分、旭通り経由19分)
車：道央自動車道利用で札幌JCTより35分。
美唄ICより右折、5分。駐車場有り。

安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄

〒072-0831 北海道美唄市落合町栄町
TEL/FAX 0126-63-3137 メール arte@artepiazza.jp
http://www.artepiazza.jp/

安田侃が舞台美術をてがけ、イタリアのプッチーニ野外劇場で2016年に行われた
オペラ『蝶々夫人』の主演ソプラノ歌手ドナータ・ダヌンツィオ・ロンバルディを招き、本場オペラの魅力をとものに...

アルテピアッツァ美唄25周年記念コンサート

プッチーニ「蝶々夫人」のゆうべ in アルテピアッツァ美唄

2017.10.14(土) 14:30開演、10.15(日) 17:30開演 料金/5,000円(税込)

会場/安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄 アートスペース

主催/プッチーニ「蝶々夫人」のゆうべ in アルテピアッツァ美唄 実行委員会